Creative Application A11

東洋思想史2: 東西思想の考察と日本

2025年度

渡邉 賢悟 (渡辺電気株式会社)

受講のてびき

- 本資料は作成者の解釈が含まれます. 答えのない議論があります

- 前半：本日のテーマ紹介と座学
- 後半：テーマを深める談義・質問・考察

- 気になることをメモをしながら受講してください

資料の見方

テーマに沿った項目

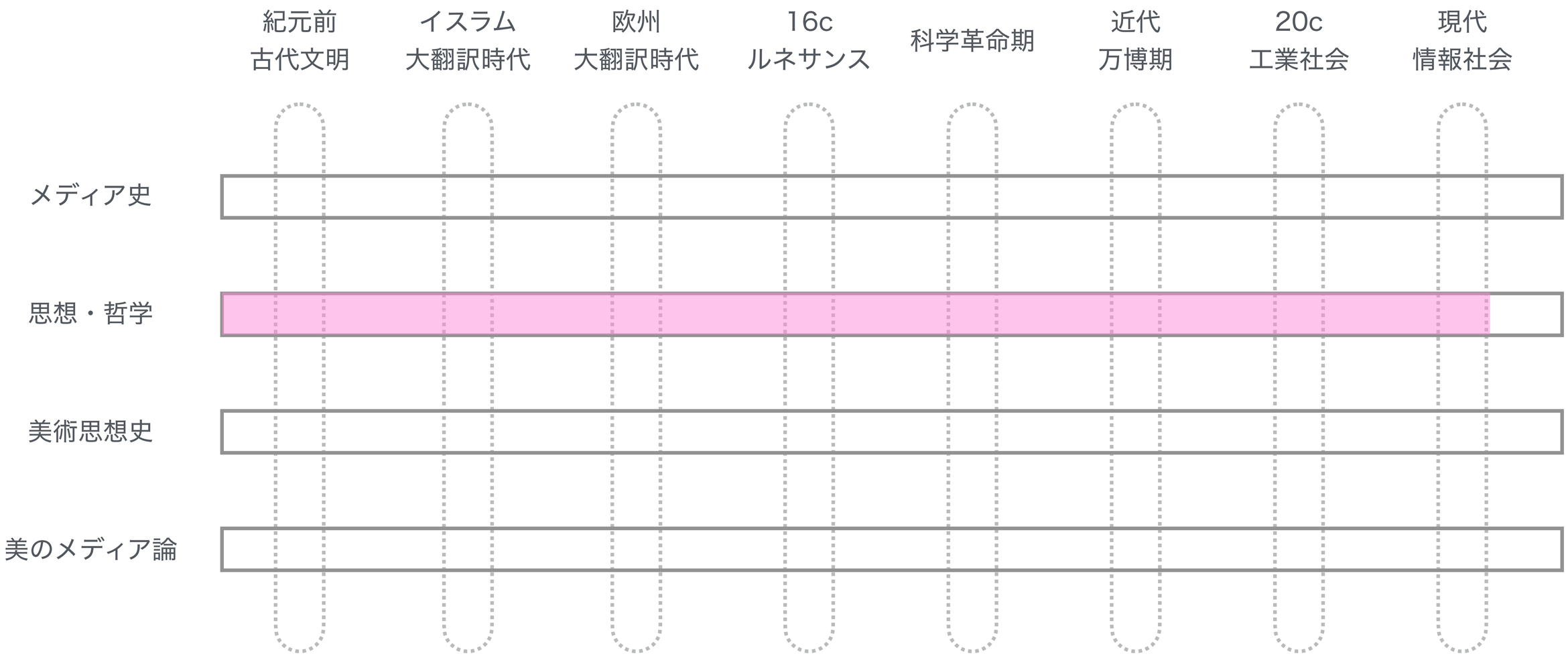
（座学で説明します）

左の内容に関連した
補足キーワード
(調べ物に役立ててください)

テーマ

- **東西の思想が行き交う日本 と 私 と 私たち**

今回の領域


紀元前
古代文明
イスラム
大翻訳時代
欧州
大翻訳時代
16c
ルネサンス
科学革命期
近代
万博期
20c
工業社会
現代
情報社会
メディア史
思想・哲学
美術思想史
美のメディア論

日本の仏教1 - 鎌倉仏教の成立

- 地域性の一例として日本の思想基盤を辿る
- **禅宗の発展**
  - 臨済宗の**公案**：対話から悟りを知る営み
  - 曹洞宗の**只管打坐**：坐禅の中から悟りを見出す
- **念仏仏教の発展**
  - 浄土系の念仏：**他力本願**と極楽浄土
  - 高度な修行なしで仏道を志せるため庶民に普及

関連キーワード

- 禅宗, 念仏仏教
- 臨済宗, 栄西
- 曹洞宗, 道元
- 日蓮宗, 日蓮
- 浄土宗, 法然
- 浄土真宗, 親鸞

日本の仏教2 - 禅（只管打坐）

- **坐禅と無我**
  - 坐して瞑想し，身体・心から離れる
  - 我を手放し，無我の私に至る
  - ただ在る私が，あるがままを観る

関連キーワード

- 曹洞宗、道元
- 只管打坐、瞑想
- 心身脱落
- 仏教1.0

現代日本の思考1 - マインドフルネス

- **西洋で禅を取り入れたメソッド**
  - 上座部仏教のサティが由来
  - “現状の気づき"を受け入れる訓練
- 瞑想による心のエクササイズ
  - 論理的・実践的，明確な有効性が認められる
  - **我の強化による安定化に近い**

関連キーワード

- 上座部仏教
- サティ
- ヴィパッサナー瞑想
- マインドフルネス
- 仏教2.0
- ニューエイジ
- ヒューマンポテンシャル運動

現代日本の思考2 - 区別する自己と解放する自己

- **クリアな主観と観客の私**
  - 区別を思考する自己 → クリアな主観
  - 区別を解き放つ自己 → 観客の私
- **自己の混乱**
  - 区別と解放が入り乱れ，整理が難しい
  - アンバランスな我と私の表出

関連キーワード

- 個人の思考, 主客
- 思考の結び, メディア化
- メディアモデル
- 西田幾多郎「善の研究」
- 仏教3.0
- ニューエイジ
- ヒューマンポテンシャル運動
- ロマン主義
- 自己承認欲求

現代日本の思考3 - 区別と合一から生まれる創作

- **「区別」を進める思考，「合一」を指向する精神**
  - 西洋に学び，区別の思考を獲得
  - 主客の区別を払う合一が馴染む土壌
  - **区別の整理と合一の調和の折衷**
- 日本の地域性を活かしたメディア化
  - **区別でつくる創作に合一の観点を練り込み**

    地域性を通したメディア活性ができるのでは？

関連キーワード

- 主観と客観
- 主客不可分
- 主客合一
- 西田幾多郎「善の研究」
- 色即是空、空即是色
- 我と無我

東西の思想が行き交う日本と私と私たち

- **区別と合一の混乱から, 折衷と連携へ**
  - 分けるより解き放つのが得意な感性を活かす
  - 自己を適切に区別し，適切に合一する折衷
  - 他者を適切に区別し，適切に合一する折衷
  - **有機的な合一を目的とするメディア学**

メディアApp開発10 - 区別と合一の連携設計

- 区別と合一の連携による機能のメディア活性
  - 機能を際立たせる区別, Appに機能を共鳴させる合一
  - 合一の感性をAppに積極的に活かす
- 実践
  - 合理的に区別できる機能の単位で整理する
  - 機能の塊が1Appとして捉えられる昨日の共鳴を狙う
  - 美の間主観性と合一の共鳴でAppのメディア性を担保する

本日の談義・考察一助

a. 只管打坐とマインドフルネスの相違点はなにか

b. 区別するところ・合一するところの線引きの基準はあるだろうか

c. 区別・合一を連携させたメディア化の勘所はあるだろうか

d. 上記に限らず, 自由に質問・問題提起・雑談をしてほしい

次回予定

- **美のメディア論1： メディアモデル - 存在と美**

参考文献

1. 藤田一照, 「アップデートする仏教」, 幻冬舎, 2013
2. 藤田一照, 永井均, 山下良道, 「仏教3.0を哲学する」, 春秋社, 2016
3. 飲茶,「史上最強の哲学入門」, 河出文庫, 2015
4. 飲茶,「史上最強の哲学入門 東洋の哲人たち」, 河出文庫, 2016
5. 西田幾多郎, 「善の研究」, 青空文庫, 1979
6. 藤田正勝, 「日本哲学史」, 昭和堂, 2018
7. 岡本 裕一朗, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
8. 井筒 俊彦,「イスラーム文化 - その根底にあるもの」, 岩波書店, 1991
9. 伊東 俊太郎, 「十二世紀ルネサンス」, 講談社学術文庫, 2006
10. 竹田 青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
11. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018